



現在と未来を考える

d4PDF ユーザ 研究会合

日時: 2018年10月10日(水)

13:00~17:15

会場: 気象研究所 講堂

茨城県つくば市長峰1-1

アクセス

<http://www.mri-jma.go.jp/Information/contact.html>

2015年から文科省の地球温暖化関連プログラムで開発している高解像度全球大気モデルおよび領域大気モデルによる大規模アンサンブル実験データ (d4PDF) は、広範な研究分野で活用されてきました。それぞれの分野における研究成果を持ち寄り、d4PDFの有用性と今後の課題について議論します。

d4PDF関連気候研究のレビュー

塩竈秀夫 (国環研)

d4PDF全球/領域版を用いた近年の豪雨や猛暑に地球温暖化が与える影響の評価

今田由紀子・川瀬宏明 (気象研)

NHRCM05とd4PDFを用いた梅雨豪雨の将来変化予測に関するマルチスケール解析

小坂田ゆかり (京都大学)

北海道水害対策への応用

山田朋人 (北海道大学)

風水害対策および水資源確保への利用

立川康人 (京都大学)

世界の穀物生産に対するこれまでの気候変化影響

飯泉仁之直 (農研機構)

気候変動が再生可能エネルギー発電ポテンシャルに及ぼす影響

岡 和孝 (国環研)

岐阜を対象とした豪雨事例解析と適応策に向けた展開

原田守啓 (岐阜大学)

司会 : 石井正好 (気象研) ・ 森 信人 (京都大学)



主催: 文部科学省統合的気候モデル高度化研究プログラム

領域 テーマC 統合的気候変動予測/テーマD 統合的ハザード予測

お申込みURL <https://bit.ly/2Kmpqg2>

締め切り 10月3日(水)

d4PDF ホームページ <http://www.miroc-gcm.jp/~pub/d4PDF/>